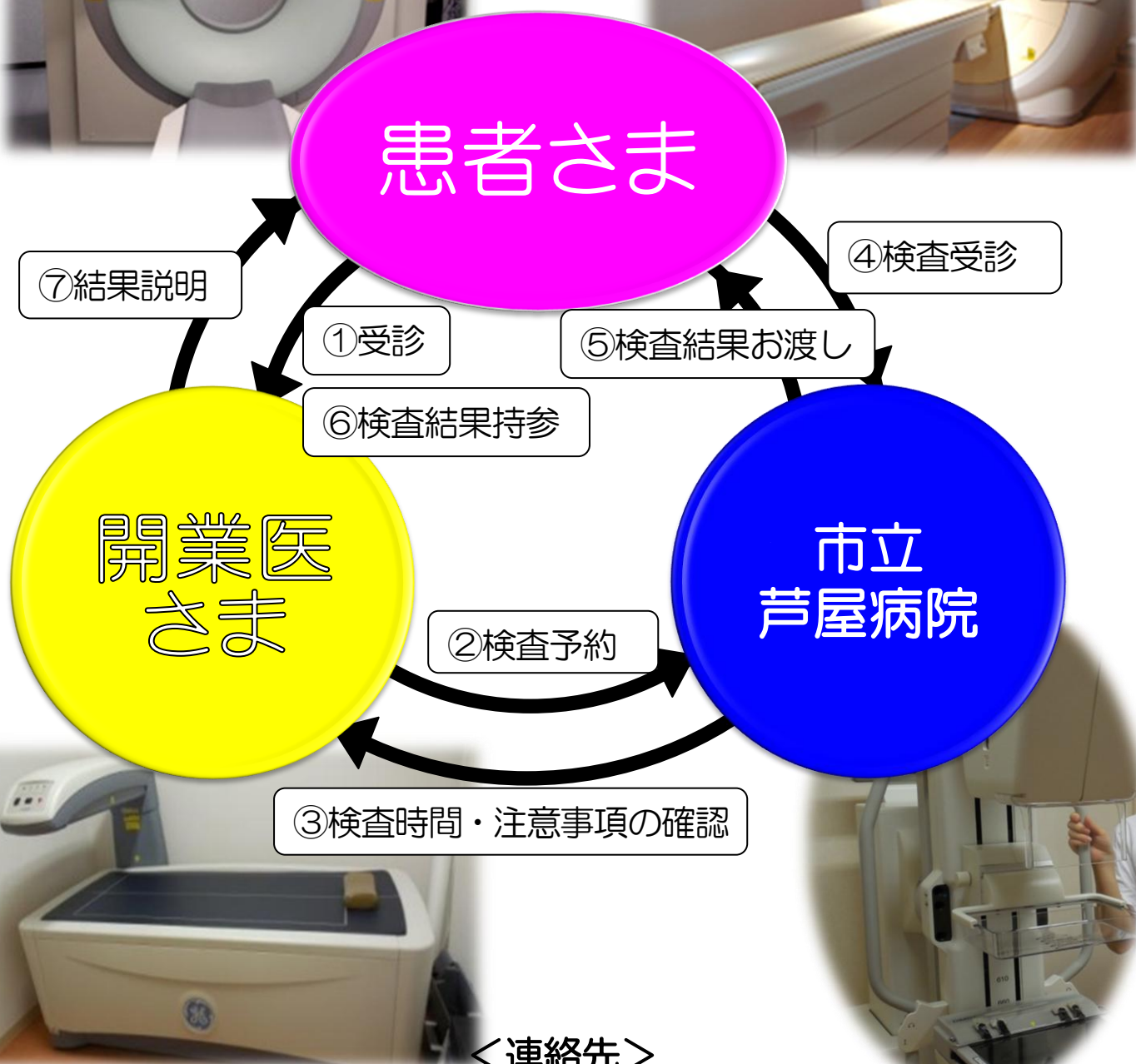


# 当院の検査機器

## CT・MRI・DXA・マングラフィー をご利用下さい

放射線科では開業医の先生方と連携して、地域医療に貢献します。



<連絡先>

市立芦屋病院 地域連携室

TEL 0797-31-2156 (代表)

FAX 0797-22-3319 (直通)

市立芦屋病院

## 3D マンモグラフィ検査のご案内

市立芦屋病院では、マンモグラフィ検査のご紹介を受け付けております。

- 放射線科医師による読影後、結果を紹介元の施設へ送らせていただきます。
- 撮影後の画像はCD-Rに書き込み、即日患者さまへお渡しいたします。
- 撮影は、月曜日から金曜日の午前中に実施しております。
- 女性技師が撮影を担当しております。



### トモシンセシス検査

通常のマンモグラフィでは、乳房全体を1枚の画像で撮影していましたが、トモシンセシスはCTのように1mm程度のスライス画像で確認ができるため、更に見やすくなります。(1方向 約5~10秒)



<3D マンモグラフィ撮影装置:  
: AMULET Invality (FUJI Film 社製)>

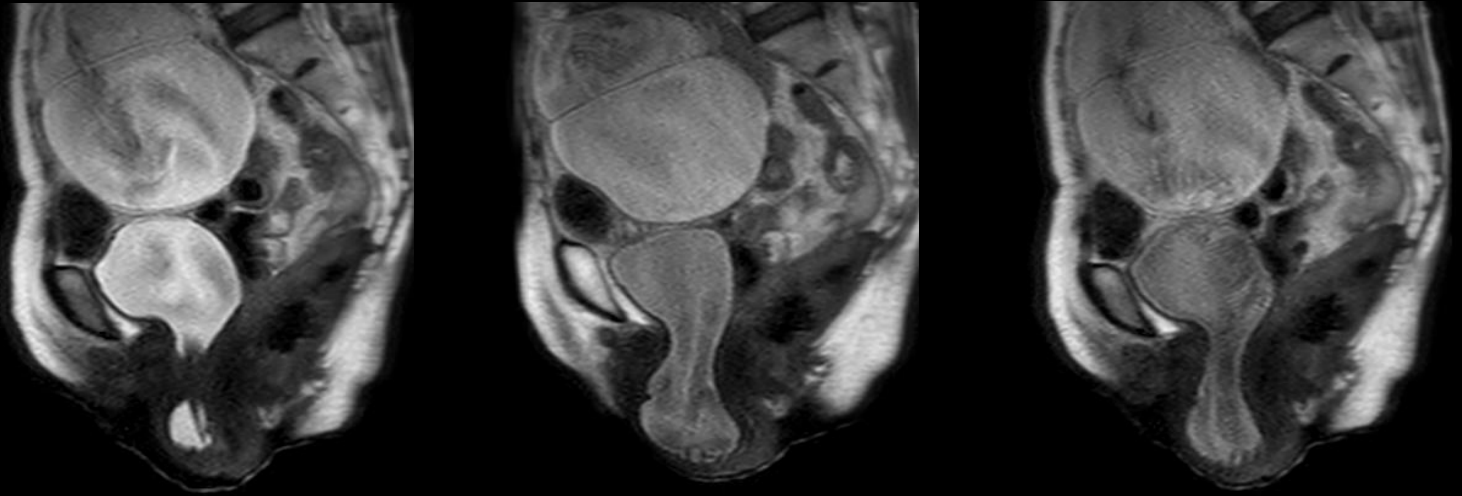
<マンモグラフィ検診施設画像認定証書>

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 3名在籍  
検診マンモグラフィ読影認定医師 3名在籍

ご不明な点がございましたら、市立芦屋病院(0797-31-2156)までお問い合わせください。

# 骨盤 cine MRI 撮像の案内

## 骨盤 cine



### 骨盤 cine MRI（動的 MRI）とは

骨盤臓器脱（POP）の診断のために、安静時から腹圧をかけた状態までを動的に撮影する MRI です。骨盤内の下垂の状態（膀胱、子宮、直腸）を一元的に評価することができます。また、骨盤臓器脱の原因となっている軟部組織（筋肉や靭帯）の評価にも有用といわれています。

### 撮像方法

- 仰臥位で膝を立て、技師の声掛けに合わせて息んでもらいます。（オムツ着用）
- 正中(子宮、膀胱の中心)の矢状断 1 slice を 40 枚/40s で撮影します。
- 平常→腹圧負荷（息む）→平常を撮影中に行なってもらい動的評価を行います。
- 通常の骨盤 MRI に cine MRI（40s）を追加撮影します。

1 回の MRI 検査で通常の骨盤 MRI 検査に加え

骨盤 cine 画像を得られます。

→チェーン CG の置き換えで骨盤臓器脱の診断の一助となります。

この検査をご希望の場合は検査目的に

**“POP cine 希望”** と記載をお願いします。



お問合せ  
ご予約は  
[こちら](#)→

市立芦屋病院  
【電話】 0797-31-2156  
【FAX】 0797-22-3319